

特徴の違う3施設から学ぶ
研修運営の“コツ”

2023 **2.15** Wed

11:40～13:10 (ライブ配信)

* 指定研修機関連絡会総会終了後より配信開始

参加費 3,000円(1施設最大3IDまで登録可)

PROGRAM

開会の挨拶

看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会会長 永井良三

シンポジウム

～特定行為研修の運営におけるベストプラクティスの共有～

座長：神奈川県特定行為研究会 理事 三重野雅裕

講演1

教育機関の取り組み

看護師特定行為 研修担当

◆ 国立大学法人 筑波大学附属病院 ◆ 石塚孝子先生

地域の医療機関の看護師を多数研修に受け入れながら、研修医や医学生と共に学ぶ研修環境を整備するなど大学附属病院の強みを活用した研修運営を行っている。また、各種シミュレータを整備し、学内演習を通して安全な手技獲得を支援するなど、教育機関における研修運営についてご報告いただく。

講演2

大規模病院の取り組み

看護師特定行為研修室 主任 診療看護師

◆ 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 ◆ 近藤寛先生

救命・クリティカル領域、外科領域、在宅領域の3つの受講コースを開設し、認定看護師や専門看護師などの看護スペシャリストが教育を行うなど、看護師の成長を促す組織体制を土台に積極的に地域の看護師への教育を行っている。地域の基幹病院における研修運営についてご報告いただく。

講演3

中小規模病院の取り組み

看護師長/集中ケア認定看護師/特定行為研修修了者

◆ 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 ◆ 畑貴美子先生

臨床に密着して、急性期医療から地域医療まで活躍できる特定行為研修修了者の育成を行っている。また、特定行為研修制度の施行初年度からの確かな研修の運営実績を基盤として、研修生に対し研修中から研修修了後まで充実した支援体制を整備している。教育機関ではない「医療法人」が運営する研修についてご報告いただく。

意見交換 / 閉会

特定行為研修の 運営における ベストプラクティスの共有